

岡山市で実施している肝炎ウイルス検査

	健康増進法	感染症法	
	肝炎ウイルス検査	エイズ・性感染症検査	肝炎一次専門医療機関
対象	40歳以上で今までに検査を受けていない人	エイズ・性感染症検査の受診者の内、今まで肝炎検査を受けたことがない希望者	今まで肝炎検査を受けたことがなく、次の①～③のすべてを満たす方 ①市が実施する肝炎ウイルス検査の受診が困難な方 ②事業主または保険者が実施する健診で、肝炎ウイルス検査の受診が困難な方 ③肝炎ウイルスへの感染の不安等により速やかに肝炎ウイルス検査を受けたい方
自己負担	70歳未満：1000円～2650円 70歳以上：330円～880円 肝炎ウイルス検査無料券対象者： これまで検査を受けたことがない以下の年齢の方 41歳、46歳、51歳、56歳、61歳、66歳	無料	無料

岡山市 肝炎ウイルス検査無料券

肝炎ウイルス検査 についてのご案内

肝臓がんのほとんどが 肝炎ウイルスが原因

C型肝炎ウイルスに感染すると6～8割が慢性肝炎の状態に進行します。また、乳幼児期にB型肝炎ウイルスに感染すると約1割が慢性肝炎に進行します。その後、慢性肝炎は、数十年かけて肝硬変、肝臓がんに進行します。感染を早期に見出し治療を行なうことで、肝硬変や肝臓がんへの進行を防ぐ可能性が高まります。

多くの方が無症状のため、一度は検査を

肝炎ウイルスに感染していても症状が出ないことが多いため、自分で気づかないことがあります。この検査は繰り返し受ける必要はありませんが、ぜひ一度は検査を受けましょう。

実施期間

令和7年6月から12月末
(医療機関の休診日除く)



肝炎ウイルス検査の受診方法

このお知らせは、今年度41歳、46歳、51歳、56歳、61歳、66歳で、過去に岡山市の肝炎ウイルス検査を受けたことのない方にお送りしています。

①医療機関へ予約する

6月に配布する「けんしん・予防接種ガイド」または岡山市ホームページから「肝炎ウイルス検査」を実施している医療機関を選んで、医療機関へ「**岡山市肝炎ウイルス検査**」の予約をします。

特定健診を市内医療機関で受診する方は、同時に受診できます。合わせて予約をしましょう。



医療機関一覧はこちらから
ご覧いただけます

②受診する(血液検査)

このはがきと、マイナ保険証や資格確認書など本人確認のできる書類をご持参ください。
受診日に、このはがきがない場合は、無料になりません。

③検査結果の確認

数週間後、検査結果を受け取ります。

【医療機関のかたへ】

この面を岡山市提出用の検査票の表面にのり、テープ等で添付してください。
(費用区分:肝炎ウイルス検査無料券 ※無料券番号の記入は不要)

肝炎ウイルス検査無料券

- 今までに岡山市の肝炎ウイルス検査(血液検査)を受けたことのない方は、この無料券が使えます。
- このはがきは、令和7年4月20日現在、岡山市の住民基本台帳に基づく対象者に送付しております。市外へ転出された後は、この無料券が使用できません。

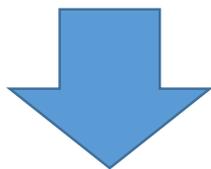
受診場所……	岡山市内の指定医療機関 (岡山市の「けんしん・予防接種ガイド」をご確認ください)
持参物……	・肝炎ウイルス検査無料券(このはがき) ・マイナ保険証や資格確認書など住所・氏名・生年月日を確認できる書類
内容……	血液検査 B型肝炎(HBs抗原)・C型肝炎(HCV抗体) 他の検査方法には利用できません

【有効期間】令和7年6月1日から令和7年12月31日まで

岡山市長 印

肝炎陽性者への保健所の対応

B・C肝炎ウイルス陽性者全員に、肝炎陽性者フォローアップ事業（陽性者のフォローアップ、初回精密検査や定期検査にかかった自己負担額の一部を償還払いにより助成）の案内、事業の同意書等を送付。



陽性者のフォローアップとして、電話や調査票により受診状況や診療状況を確認。受診につながっていない場合は、受診勧奨。

B型・C型肝炎ウイルス陽性者の方への
肝炎陽性者
フォローアップ
事業のご案内

肝炎ウイルスは多くの場合、感染しても自覚症状が無く本人が気がつかないうちに慢性肝炎から肝硬変や肝がんへ進行していく恐れがあり、できるだけ早く専門医療機関を受診し、継続して検査・治療を受ける必要があります。
そのため岡山県では、ウイルス検査で陽性と判定された方を対象としてウイルス性肝炎の重症化を予防するための陽性者フォローアップ事業を行っています。

1 陽性者のフォローアップ
本人の同意を得た上で、年1回調査票の送付等により、医療機関の受診状況や診療状況を確認し、必要に応じて電話などで受診をお勧めします。

2 検査費用の助成
医療保険の給付額を除いた自己負担額（対象となる検査に限る）を申請により償還払いを行います。対象となる検査項目についてはお問い合わせ下さい。

【助成要件】検査費用の助成には、以下の全ての要件に該当する必要があります。

初回精密検査（助成回数：1回）	定期検査（助成回数：年2回）
<ul style="list-style-type: none">1年以内に以下の機関等で実施する肝炎ウイルス検査で陽性と判定された人<ul style="list-style-type: none">- 岡山県内の保健所、支所- 岡山県肝炎一次専門医療機関- 市町村又は職場の健康診断- 妊婦健診- 手術前検査「①陽性者のフォローアップ」の実施に同意した人各種医療保険に加入している人岡山県肝炎一次専門医療機関で精密検査を受診した人	<ul style="list-style-type: none">「①陽性者のフォローアップ」の実施に同意した人各種医療保険に加入している人肝炎ウイルスの感染を原因とする慢性肝炎、肝硬変及び肝がん患者（治療後の経過観察を含む）住民税非課税世帯に属する人（自己負担限度額0円）又は市町村医師（所管医）課税年額が235,000円未満の世帯に属する人（自己負担限度額：慢性肝炎2,000円、肝硬変及び肝がん3,000円）岡山県肝炎治療特別促進事業の受給者証の交付を受けていない人岡山県肝炎一次専門医療機関で定期検査を受診した人

肝炎陽性者のフォローアップ状況

- 市のけんしんで把握した陽性者の状況

	肝炎	陽性者	同意者	陽性者のうち		
				うち治療	うち経過観察	受給者証等申請
R7 (~10月)	B型	8	0			
	C型	0	0			
R6	B型	13	1	0	1	0
	C型	10	2	2	0	2
R5	B型	20	8	5	3	5
	C型	5	2	2	0	2
R4	B型	21	3	0	1	2
	C型	5	2	1	0	2
R3	B型	25	4	2	2	1
	C型	9	2	1	1	1
R2	B型	21	3	0	2	0
	C型	18	2	2	0	2
H31	B型	30	8	0	0	
	C型	4	1	1	0	
H30	B型	24	8	0	1	
	C型	9	2	0	0	
H29	B型	34	5	0	0	
	C型	23	5	3	0	

- 感染不安等で肝炎一次専門医療機関等での検査で把握した陽性者の状況

	肝炎	陽性者	同意者	陽性者のうち		
				うち治療	うち経過観察	受給者証等申請
R7 (~12月)	B型	0	0	0	0	0
	C型	1	1	1	0	1
R6	B型	0	0	0	0	0
	C型	0	0	0	0	0
R5	B型	1	1	0	0	0
	C型	0	0	0	0	0
R4	B型	0	0	0	0	0
	C型	2	1	1	0	1
R3	B型	0	0	0	0	0
	C型	2	2	2	0	1
R2	B型	0	0	0	0	1
	C型	0	0	0	0	0
H31	B型	4	2	1	1	
	C型	7	3	1	2	
H30	B型	4	1	1	1	
	C型	7	1	1	1	
H29	B型	2	0	0	0	
	C型	2	0	0	0	4

肝炎・梅毒のまとめ

肝炎

- ▶ 岡山市は全国に比べ、肝がんの死亡率が高い状況が継続。
- ▶ 肝がんの死亡率のピークの年齢層はこの30年で50～60代から80～90代に移行。
- ▶ B型肝炎・C型肝炎の潜在感染者は70代後半～90代に多い。

⇒早期発見・早期治療のため、特に70代後半～90代の方の肝炎ウイルス検査の実施や、陽性診断時は肝炎一次専門医療機関への連携をお願いします。

梅毒

- ▶ 近年の増加は一旦頓挫。岡山市では男性は40代・女性は20代が減少。しかし女性のI期での届出割合は増えておらず、早期発見早期治療につながっているとは言い難い。
- ▶ 岡山市の方針：検査のハードルを下げ、早期発見早期治療につなげるため、令和8年度から梅毒等郵送検査開始予定。また、梅毒の知識普及・啓発を若い世代に行っていく。

⇒陽性診断後はパートナーへの検査・受診勧奨・治療の検討をお願いします。